

# 沖縄の広告展開催!!

## 時代、生活 そして広告

沖縄が本土復帰して30年、沖縄広告協会の創立が20年。その節目に企画された沖縄の広告展がいよいよ開催。「時代、生活 そして広告」をテーマに沖縄広告界のこれまでの歩みや歴史、懐かしい、珍しい広告などの紹介を中心に、広告の舞台裏やエピソード紹介など内容盛りだくさん。いまや広告とは時代を反映するもの、生活の一部として無くてはならないものに進化、メディアの重要な役割を担うものになっている。

独特の歴史を歩んで来た沖縄のさまざまな広告を一挙に公開!!



古き貴重な資料  
役割を担つ「新聞」  
生活の一部となつて、時代の役割を担つ新聞  
開く。それはまた広く、  
ても同様で、人々の生活  
と広告との関わりが今  
でわかる重要な点。今  
回日本人広告主翁号  
が掲載された萬國新聞  
紙慶應3年刊と沖  
縄新聞 明治39年が本  
会場にて公開される。  
災で戦前の貴重な資料  
が焼失している中、保存  
の良い状態で東京を見

いよいよ

いらっしゃい!!!



ソーファジ中央通り会の  
ソニーファンがお出迎え

新聞・印刷関連の展示

ソニー坊や  
広告と社会の関わりをテーマにした今展示会  
のシンボル。たしかに可愛いだけじゃない、社会的  
にも大きく貢献したソニーファンやが会場入りで  
お出迎え。現存する5体のうち、西原町サウ  
フジ中央通り会のソニーファンの等身大の人形が  
会場入りを飾っており、その運営や「ソニア  
ルの秘話も時々公開ソニーファンを目前にし  
て懐かしさを感じ人、結構なお年かも? 笑

楽しい!!

# 沖縄の広告展

沖縄本土復帰30周年記念  
沖縄広告協会創立20周年記念事業

Okinawa  
20th

Thanks: 沖縄広告協会

沖縄本土復帰30周年記念

# 96年前の貴重な沖縄新聞“里帰り”

明治39年発行の「沖縄新聞」。  
ほぼ完全な形で保存されています。  
この新聞は資料としても貴重

沖縄新聞



明治三十九年一月一日

美佳中学校  
那覇區  
高級小學校長  
那覇

日本第一製糖  
株式会社

露といえども、實に貴重なナ  
マ資料です。わが國の新聞歴  
史はやつと一世紀を超えた  
程度だいごとに、全国各地  
で発行された新聞の多くは、  
天災あるいは災害によつて消  
滅、雲散してしまつています。  
中でも、沖縄県で発行された  
新聞は皆無といつても過言で  
あります。日本で一番古く  
明治大正期の新聞を收藏  
している東京大学明治新聞雑  
誌文庫でさえ、「沖縄新聞」(沖  
縄毎日新聞・沖縄民報・沖  
縄新報)の4紙が、ごくわずか所  
蔵されている程度です。

去年4月、東京で開催された  
骨董市で、奇しくも明治39(1906)年

の「沖縄新聞」を2部発見しました。破損  
もなく完全な形で残っていたこの新聞  
を手にした時の驚きと興奮は、今までに  
忘れられません。手には、まだ間に  
の値段をききましたと「新聞だけでは売  
らない。まとめて仕入れたもののなので、  
括弧でないと」といわれ、束を見せら  
れました。三重県を振り出しに学校の  
教員を長く務めた隣谷義一さんによ  
るところ、この新聞は沖縄県で訓  
讀するもので、明治30年代に沖縄県で訓  
導や校長であった辞令が含まれて  
いました。38年頃から北海道に赴任で  
海道に郵送された新聞が紛失せずに残  
っていたもの約うです。

あなたたは「ソニー坊や」  
知っていますか?

昭和33年頃からソニーのマスクコットと  
して宣伝に使用された「ソニー坊や」が、  
ここ沖縄では交通安全のシンボルマス  
コットとして、児童生徒を見守り続けて  
います。ソニー坊やは昭和31年(1946)年まで週刊  
朝日連載していた人気漫画「アッチャ  
ン」がモデル。沖縄県でも、交通安全のや  
やラクターとして交通量の多い沿道や  
交差点付近に設置された。あれから40年  
余の月日を経て、現在なお残っているの  
はわずか5体だけだという。

スピードはひかえめに。シートベルトは忘れずに。  
Thanks: 沖縄広告協会さま

Drive Your Dreams. 人・社会・地球の新しい未来へ。 TOYOTA

中学時代(1949年)に、この新聞発見のニュースは2001年に、8月3日付けの「沖縄タイムス」に紹介され、そのためこの新聞は「沖縄の広告展」の出

品につながりました。多くの皆さまにこの新聞を通して、当時の沖縄の世相や広告の端をご覧いただき、ありがとうございました。  
(東洋文化新聞研究所代表 羽島)

北から、「今帰仁村の仲原馬場近く  
野尻川の市民広場向かい付近」「宜野  
波ワジ中央通り会」「糸満市の名城  
ビーチ内ブリ横」。佐敷町にも最近ま  
で残っていたらしいがどうぞ確認で  
きながった。



ソニー坊や復元の経緯

「ワフジ中央通り会」のソニー坊やは、  
もともとは中部製糖入口付近にあった。  
工場移設に伴いその行方も案じられた  
が、無くさないほしいう強い要望  
で現在地へ移転。その作業の中心とな  
ったのは、会長の新川さん。「40年以上も  
交通安全のシンボルとして役立つて来  
たものを取り壊すのは恥びない。近所の  
交番にお願いしたけど、ソニーなきや  
宣伝になるからダメと言われた。場所探  
しから大変だった」移転を機に、名前を  
「ワフジ坊や」に変えようという話に  
「現状のまま今までオリジナルの文字が  
ダメだ。作った方の思いやオリジナリティ  
の良さを活かしたい派手に塗装しよう」と  
いうのも勿論却下したよ。と語る。それ  
では特に何がこの物になかったか? その  
問い合わせにはパネルを取り外せるよう  
工夫した。ずっと愛される様に、例えば  
近隣の小中学校で標語を募集して、その  
一番のものを飾り下ろす。と語る。それ  
によ。そうするといつも時代に合って  
しょ? と笑顔で答えてくれた。

トヨタ

## 第1会場

# リウボウホール

(新聞・印刷物の世界)

目玉

96年前の沖縄新聞。  
日本人広告主第1号が  
掲載の萬國新聞紙。

羽島コレクションによる貴重な新聞を展示。  
保存の良い古い新聞は、非常に貴重で  
資料としても重要なのだ。

沖縄の広告展は2つのテーマに分け、会場2ヶ所で開催される。第1会場のリウボウホールは「新聞・印刷物」の展示を中心に、珍しい広告・古い新聞・貴重なポスターなど、沖縄のそれぞれの時代に発表された広告を一斉に展示。懐かしい商品パッケージから、復帰の日当時のある家庭の再現など、趣向を凝らしたコーナーがたくさん。一つひとつ細かく見て、広告博士になっちゃおう!



Thanks: 沖縄広告協会さま

あのCMの  
絵コンテも  
展示するよ!!

